

輸入スタックポリシートの効果確認

JA上士幌町

上士幌町農協TMRセンター



1.試験品の展張 6月30日撮影



2.試験品の展張 6月30日撮影



3.試験区 6月30日撮影



4.慣行区 6月30日撮影



5.慣行品 6月30日撮影

試験目的

輸入スタックポリシートの効果確認

試験作物 及び品種

牧草

試験資材 及び数量(規格)

輸入スタックポリシート
黒(0.095mm×1.5m×55m) 原反1本
白黒(0.15mm×1.8m×55m) 原反1本

慣行資材

国産スタックポリシート
黒(0.095mm×1200cm×55m) (原反・加工品)、1500cm×55m (加工品)
白黒(0.15mm×1800cm×55m) (加工品)

栽培方法

収穫日

6月28日～30日

資材使用期間

6月26日～10月18日

試験区面積

バンカー
サイロ1基

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

試験品は巻物のため、芯に鉄パイプを通して展張でき、作業員が少なく済むだけでなく、作業時間も短縮することができた。(慣行品は8名で展張、試験品は4名で展張)

原反の幅が2m前後で巻物になっているため、保管しやすいのも良い。

ただ、ものすごく重たい(黒は1本約75kg、白黒は1本約150kg)ので、作業に工夫が必要。

(2)作物の生育状況または、収穫への影響

約4ヵ月後に開封して使用したが、サイレージの品質に問題は見られなかった。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

慣行品は継ぎ目から破れてしまうことがあるが試験品にその心配はなく、折り目の部分も問題なかった。

モニター感想・JA担当者の感想(営農振興課 鈴木係長)

試験品は広幅でも巻物になっているので、とても展張しやすかった。

また、慣行品と違って継ぎ目から破れる心配もなく、折り目部分も問題は見られなかった。

試験品の原反は同じ巻物でも幅が狭いため、慣行品よりも使いやすい。

価格次第にはなるが、展張・保管の両面で使い勝手が良いので来期からの使用を考えたい。

今後の使用について

継続して使用したい。

作業性が良く保管もしやすいため、価格次第では使用を考えたい。

将来希望する資材について

人手の確保にも苦労しているので、効率的にシートを展張する方法を今後も検討していきたい。

1 高温対策

2 青虫忌避効果

3 調光フィルム

4 3Dシート広幅

5 クリーンシート

6 マルチ

7 不織布

8 育苗資材

9 酪農資材

10 その他